

# 企業ニュース オリエンタルランド

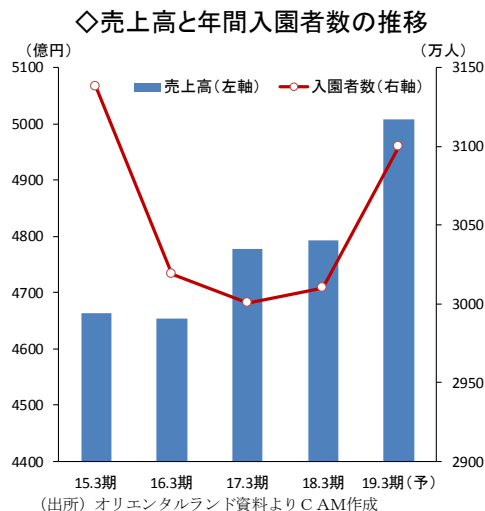
(東証1部：4661) <http://www.olc.co.jp/>

作成者：荒木晶子

## テーマパークの大規模開発による成長性に期待

1960年設立。テーマパークの東京ディズニーリゾートや周辺のホテル・商業施設などを運営している。19.3期・第3四半期累計(4-12月)の売上高構成比は、テーマパーク83%、ホテル14%、その他3%。

19.3期は、東京ディズニーリゾート35周年イベントの効果で、入園者数が想定以上に増加している模様。通期計画の上振れが期待される。20.3期は、イベント効果のはく落により入園者数が対前年で減少する可能性があり、短期的には株価の下落要因となり得る。しかし、中長期で見れば東京ディズニーリゾートのエリアやアトラクションの大規模開発などによる成長期待が高く、入園者数の減少も一時的な影響に留まるとみられる。



## 入園者数が想定以上に増加し、増収増益

19.3期・第3四半期累計(4-12月)の連結業績は、売上高が3,996億円、前年同期比10%増、営業利益が1,067億円、同14%増。テーマパーク事業は同11%増収、同14%増益。東京ディズニーリゾート35周年イベントの効果により、入園者数とゲスト1人当たりの売上高が増加した。第3四半期(10-12月)の入園者数は同12~14%増となり、計画比7~9%増となった模様。費用面では、人件費や35周年イベント関連費用、システム関連費用などが増加した。

19.3期の通期会社計画は、売上高が5,009億円、前期比5%増、営業利益が1,135億円、同3%増。計画は据え置いたが、通期計画に対する進捗率は売上高が80%、営業利益が94%と好調であり、上振れが期待できよう。テーマパーク事業における入園者数の計画は3,100万人、同3%増だが、第3四半期までは想定を上回って推移している模様で、売上高の上振れ要因となろう。第4四半期(1-3月)は現在までのところ好天に恵まれ、入園者数は好調に推移している可能性が高い。

## [株価動向・投資判断]

今期予想P E Rは約50倍と高水準だが、新しいエリアやアトラクションの開業や海外ゲストの取り込みなど中長期での収益成長が見込まれ、現在の水準は許容されよう。

<4661 OLC 業績:日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円(伸び率)	百万円(伸び率)	百万円(伸び率)	百万円(伸び率)	円	円
17.3	477,748( 3)	113,152( 5)	114,611( 5)	82,374( 11)	248.4	37.50
18.3	479,280( 0)	110,285(▲3)	111,660(▲3)	81,191(▲1)	246.7	40.00
19.3 予	500,860( 5)	113,470( 3)	114,810( 3)	80,030(▲1)	243.4	40.00



[主要株価指標] (売買単位：100株)	
株価(2019/3/15)	12,265 円
昨年来高値(高値日)	12,560 円(19/3/12)
同 安値(安値日)	9,909 円(18/2/9)
予想P E R(19.3 予)	50.4 倍
1株株主資本(PBR算出用)	2,390.6 円
P B R	5.13 倍
予想配当利回り	0.33 %
(1株当たり配当金40.00円)	
R O E(18.3)	11.7 %
発行済み株式数	36,369 万株